

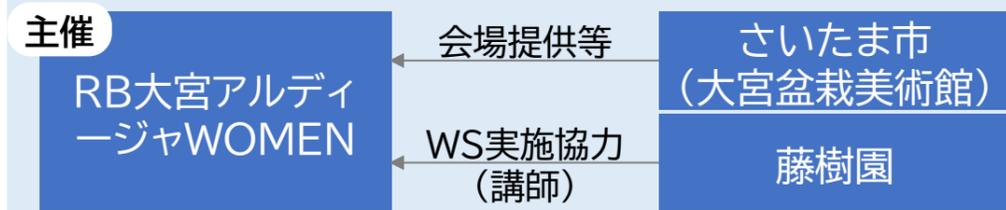
イベントの目的

ホームタウンの文化を知ることによって地域への理解を深め、次世代への文化・歴史の継承に寄与するとともに、子どもたちの地域愛醸成や体験機会獲得を図る

取組内容・体制

地域文化を学ぶ初回企画として、昨年100周年を迎えた大宮盆栽村で選手と地元親子がワークショップ(以後WS)に参加する。制作した作品は試合会場で展示する

企画・運営者



インパクトサマリ

選手と共に体験したことで、地域の文化・歴史を知識としてだけでなく、子どもたちの思い出として継承することができた。また、スタジアムでの展示により、ホームタウン内外の方々にも、地域文化を広く周知することができた

参加者満足度



参加者の意識・行動変容で生み出される主な社会価値

WS参加者・スタジアム来場者	地域の文化・歴史を学ぶことによる ホームタウンの理解深耕
WS参加小学生	WSで地域の文化や魅力に触れることによる 地域愛の醸成
地域・社会全体	参加者の関心・意欲の向上による 地域文化の継承・振興の促進

その他の創出効果：定住・移住意欲の向上、子どもの非認知能力の向上、仕事に対する幸福度の向上、企業・団体・クラブの認知向上等



WS参加者

- 男女のトップの選手とあえてうれしかったし、盆栽を切れて楽しかった(小学4年・男子)
- 地元の盆栽を大好きなアルディージャの選手とすることができ思い出になりました(30代・女性・保護者)



スタジアム来場者

- 大宮で盆栽が有名なことを知れてよかった(さいたま市外)
- 普段見る機会がない盆栽が見れた(さいたま市内)

藤樹園(講師)

- 参加したお子さん、選手の皆さんが真剣にワークショップに取り組んでいて良かった